

西日本インカレ（合同研究会）2015 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学・学部・所属ゼミナール名（フリガナ）		
フリガナ）フクヤマイチリツダイガク	フリガナ）トシケイエイガクブ	フリガナ）ハダゼミ
福山市立大学	都市経営学部	羽田ゼミ

※申込書に記入したチーム名から変更する場合は、新旧両方の名称を記入してください。

※企画シート提出後のチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数（代表者含む）
フリガナ）チームサイトウ	フリガナ）タカハシ マサリ	5 人
チーム SAITO	高橋正憲	

研究テーマ（発表タイトル）

「ゆるキャラで伝えよう福山～内から内への魅力発信～」

※必ず＜企画シート作成上の注意＞を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

私たちの住む地方都市福山市を分析し、都市の抱える課題として福山市の知名度の低さに注目した。私たちは福山市に住む学生という立場から都市の問題に向き合い、地域活性化の一つとして福山市を知ってもらい、好きになってもらうことを目標とした研究を行う。この目標を達成するための複数の方法の中から、私たちは地域に住む市民への情報発信の強化を行う。その方法として近年ブランドマーケティングで重要とされている物語性を重視し、従来の情報発信ではなく発信された魅力が地域で循環していくことが狙いである。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

福山市は 2016 年 7 月 1 日で市制 100 周年を迎え、それに合わせてばら 100 万本の町アクションプランや今後の都市を形成していく福山都市ブランド戦略といった政策が行われており、地域活性化に向けて様々な政策が計画施行されている。しかしながら、政策について市民への情報発信が不十分であるという問題や、全国的にみられる人口減少、少子高齢化社会への移行などの地方衰退の問題などがあり、福山も例外ではない。

3. 研究テーマの課題

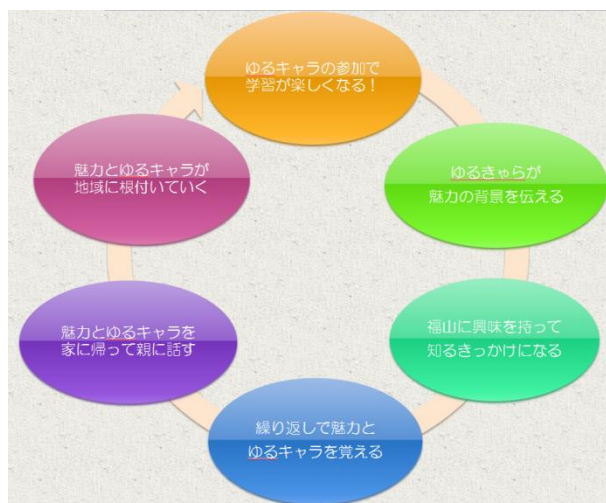
地域活性化には地元から盛り上がる方法と、PR により県外からのアクセスが増えることで地域活性化に結び付く方法があり、福山においてはまず地元への情報発信の課題などから、地元から盛り上がる地域活性化を行う必要があると判断した。私たちが注目した市民への情報発信は、政策だけでなく地域の魅力の発信という点でも情報発信がうまく行われていないという問題があり、そのことにより地域の魅力を市民が知らないだけでなく、次の世代へと受け継ぐことができないという問題へとつながる。私たちは、市民へ魅力をどのように発信し、市内で受け継がれていくかという点を地域活性化の大きな課題として挙げる。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

1、私たちは地域の既存資源である魅力を発信し、市民に知ってもらうことで地域活性化につなげることを提案する。その方法として、福山市がすでに所有しているゆるキャラに焦点を当て、これまで福山市がゆるキャラを用いて行ってきた活動とは異なる方法で情報発信を活性化させることを提案する。

2、ゆるキャラの活用とともに、市が 2015 年度から実施している小中学生を対象に福山の魅力を伝え学ぶ「ふるさと学習」にも注目した。ふるさと学習では、福山の持つ資源について学ぶことで福山を好きになってもらうことが目的である。ゆるキャラとふるさと学習は、福山のことを好きになってほしいという点と、福山の魅力を知ってほしいという点で目的に重なる部分が存在し、ふるさと学習とゆるキャラを組み合わせることで、従来の学習だけでは得られなかった、魅力の背景について知る機会となる。この体験が児童の興味関心は強め、ふるさと学習のみで伝えられる情報よりも深く知るきっかけになり、福山をより好きになっていくよう学習を促進できると考えられる。児童・学生が学校で学び家庭で話題にすることで、ターゲットは地域住民へとひろがることは予想され、現在の市内の若者世代だけでなく、幅広い層に向けた情報発信と魅力の伝達に繋がる。今まで魅力が継承されてこなかったため、若い世代が福山の魅力を知る機会がありませんでしたが、この二つの組み合わせにより地域に魅力が循環し継承されていくという物語性を伴ったサイクルが生み出される。

このサイクルが私たち提案する福山をより知って好きになっていく地域活性化の方法である。



5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

- ・インターネット、書籍による福山市の現状やゆるキャラについての情報収集と分析
- ・市役所内のふくやま魅力発信課、市民参画センターへのヒアリング調査

6. 結果や今後の取り組み

提案は、福山市民に対しての情報発信の改善という問題解決のために、既存資源のゆるキャラとふるさと学習を活用することで、市民への情報発信を強化するというものである。これにより、次世代を担う子供たちに対して福山の持つ魅力を発信するだけでなく、現在の福山市民という幅広い年齢層に対しても情報発信することが可能となる。福山の魅力を知ることによって市民が福山に誇りをもち、市内から県外への情報発信につながっていくのである。

今後の課題としては、市内から県外へ、そして県外の人々が福山市に興味を持ち行動することで達成される地域活性化への方法があげられる。私たちは、今後の地域活性化に向け行政と連携し、問題解決に尽力していく。

7. 参考文献

- ・“芽が出る縁起物 福山特産クワイ” 福山市の地域情報お出かけサイト ふれこ <閲覧日 2015 年 11 月 10 日>
<http://preko.jp/blog/format?blg=1723>
- ・“福キャラ大集合 福山市イメージキャラクター紹介ページ” 福山市 ホームページ <閲覧日 2015 年 11 月 10 日>
<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/soshiki/miryoku/2534.html>

- ・“アジア少年少女国際交流事業 in 福山”福山市の地域情報おでかけサイト ぷれこ <閲覧日 2015 年 11 月 14 日>
<https://preko.jp/blog/format?blg=2468>
- ・google トレンド <閲覧日 2015 年 11 月 14 日>
<https://www.google.co.jp/trends/>
- ・“くまモン経済効果. Pdf” 日本銀行熊本支店 <閲覧日 2015 年 11 月 3 日>
http://www3.boj.or.jp/kumamoto/tokubetsu_chosa/20131226kumamon.pdf
- ・“ふくやま魅力発信課” 福山市ホームページ <閲覧日 2015 年 11 月 9 日>
<https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/soshiki/miryoku/>
- ・“製品紹介 選ばれるカイハラデニム” カイハラ株式会社 <閲覧日 2015 年 11 月 9 日>
<https://www.kaihara-denim.com/product/denim>
- ・“志村&所の戦うお正月 2012 年 1 月 1 日” Youtube <閲覧日 2015 年 11 月 9 日>
<https://www.youtube.com/watch?v=58ytGQZ9H-s>
- ・“農業体験 2013 年度”JA とぴあ浜松 <閲覧日 2015 年 11 月 14 日>
<http://jatopia.ja-shizuoka.or.jp/seinenbu/taiken2013>
- ・“ぐんまちゃん経済効果” ゆるキャラグランプリオフィシャルサイト <閲覧日 2015 年 11 月 3 日>
<http://www.yurugp.jp/news/?id=759>
- ・“福山市地図” 経済産業省資源エネルギー庁 HP <閲覧日 2015 年 10 月 31 日>
http://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saiene/park/p39.html
- ・福山市立中央中学校区 「大好き！福山～ふるさと学習～」年間指導計画 <閲覧日 2015 年 11 月 15 日>
http://www.edu.city.fukuyama.hiroshima.jp/chu-chuo/ikkan/ikkan_furusato_syllabus.pdf

西日本インカレ事務局への連絡事項

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、西日本インカレ事務局への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3 ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、3 ページ目までを渡します。

※大会参加申込み時点から、「参加メンバー」の変更があった場合、上記「西日本インカレ事務局への連絡事項」に記入してください。なお、本企画シート提出後のチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HP などに発表されていない）ものに限り、ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※その他、注意点については「企画シート・パワーポイントの作成および提出について」をご参照ください。